

夏の運転に注意！



『夏型交通事故』とは、どんな事故でしょうか・・・
冬は「日が暮れる時間帯」に交通事故が増える傾向ですが、夏の運転で気をつけてほしい時間帯は、「日差しの強い日中帯」です。

特に気をつけてほしい3つの注意点が、

- 1 暑さによるぼんやり運転でうっかりセンターラインを越えてしまい、対向車と衝突する事故。日差しが強いと、眩しくて見えづらいので注意！
- 2 台風やゲリラ豪雨など、夏特有の天候や天気急変による事故。雨が降っていると視界が悪くなったり、ラインや標識も見えづらくなり注意！
- 3 夏休みになると普段、車を使わない人も車で出かける頻度が増えるため、渋滞に巻き込まれることも多くなりますね。渋滞でゆっくりの運転を長時間続けることで、注意力が低下する、ストレスが溜まるなどして運転中の正しい状況判断ができなくなったり、ハンドル操作のミスに繋がったりする恐れがあるので注意！



◎対策として次のようなことに気をつけましょう。

- ◆暑さでボーっとならないように車内を涼しくして、水分をしっかりとる。
- ◆シートベルト・チャイルドシートの装着を徹底する。
- ◆疲れを感じたら適度に休憩を取る。
- ◆台風やゲリラ豪雨の時は、できるだけ運転を控える。

○渋滞に気付いたら、早めにハザードランプを点灯して後続車に知らせる。



夏休み



夏休み中は、平日の昼間など普段は見かけない時間帯でも、子どもを見かけることが多くなります。子どもの急な飛び出しが予想される場所では、これまで以上に気をつけましょう。

隠れ脱水にも気をつけて！

輻射熱を受ける車内では、想像しているよりはるかに水分を消費している場合が多く、さらにエアコンで車内が乾燥してしまい、気付かないうちに脱水症状になることも…

こまめな水分補給を忘れずに！

